

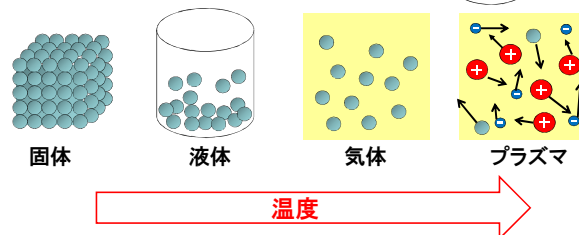
- ・ プラズマ技術を用いた高効率なプロセスの実現をお手伝いします
- ・ 技術調査からパイロットスケールの検証まで支援します

目的・背景

[プロセスの簡素化・高効率化]

- プラズマにより生成したオゾンやラジカルを化学反応場として利用できる

プラズマ技術は身近なところでは蛍光灯やテレビにも利用されている

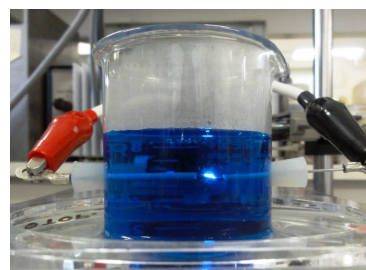
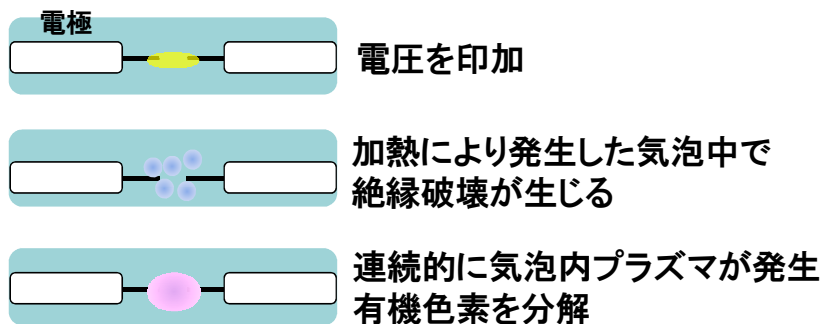


技術応用例 | 水処理技術への応用

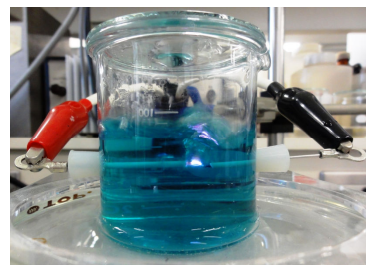
[主な特徴]

- 処理液中でプラズマを発生することが可能
- 液中でラジカルが生成するため、一段プロセスで完全分解が可能

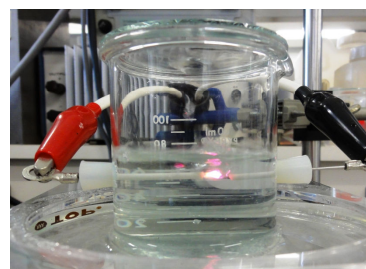
[分解メカニズム]



プラズマ照射
0min



~10min



~30min

有機色素(メチレンブルー)の水中プラズマによる分解

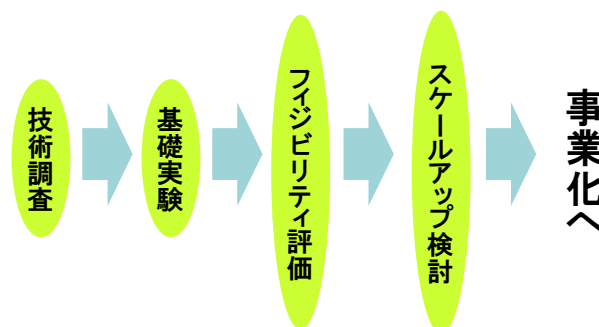
今後の展開 | 触媒プロセスに活用

環境分野

- 廃水処理
- 排ガス処理
- 水質管理
(滅菌・殺菌)

化学プロセス

- バイオマス変換
- 天然ガス高度利用
- 燃料改質



各ステージの支援をします